

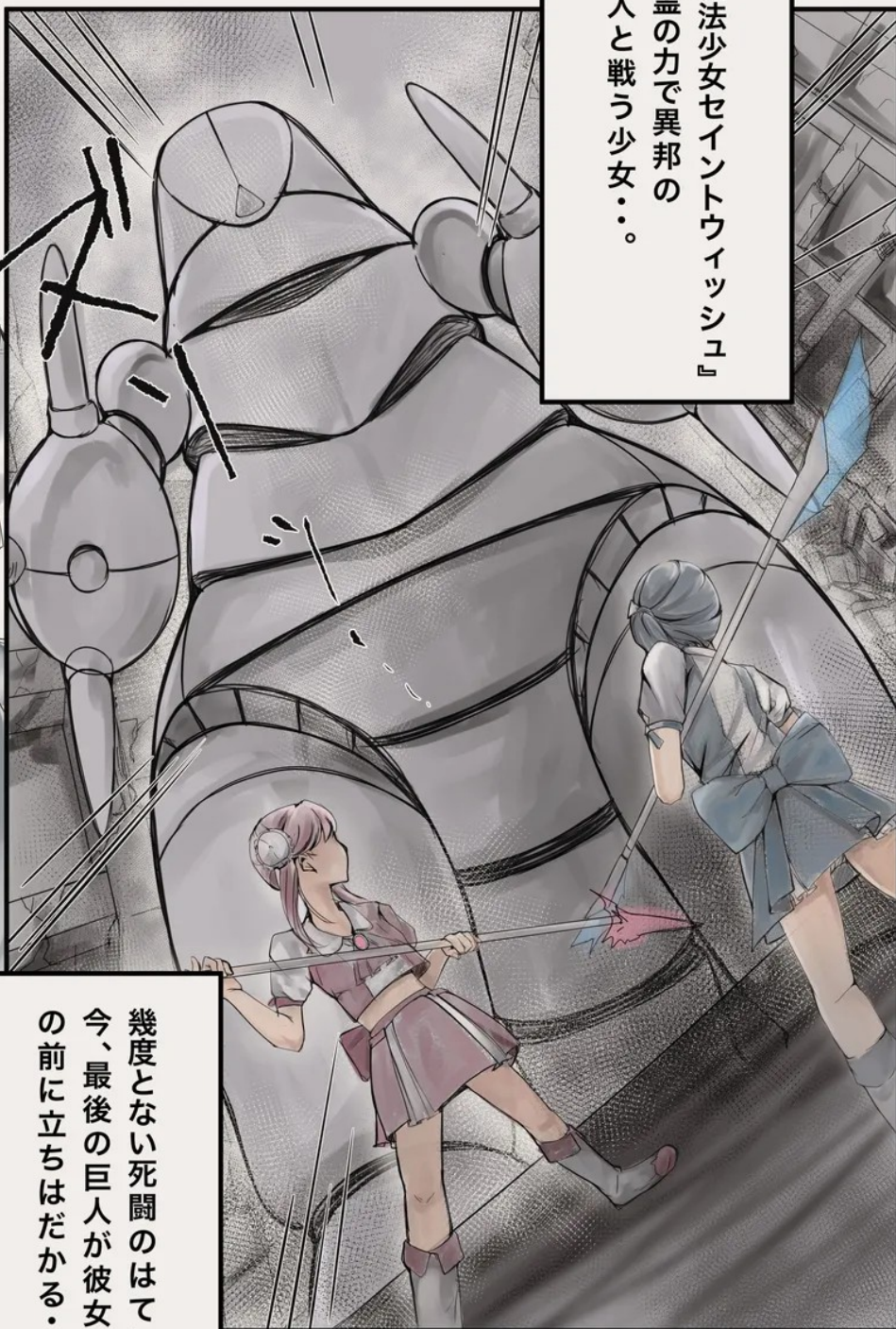
魔法少女 悪堕ち

——触手洗脳——

正義の化身ヒロインが
触手洗脳で悪へと沈む...！？

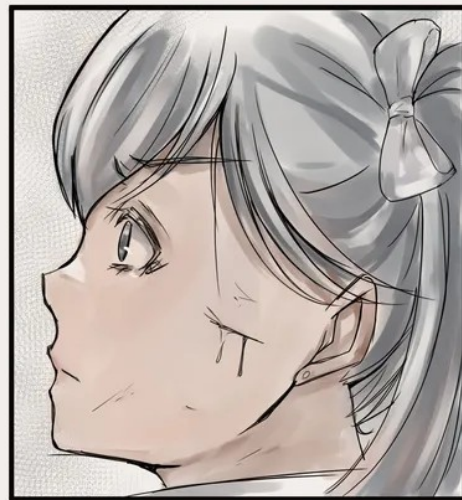
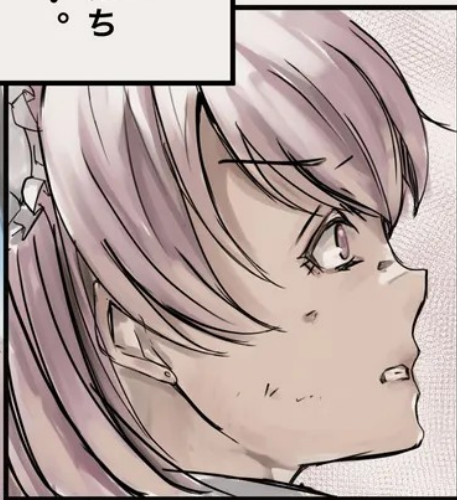


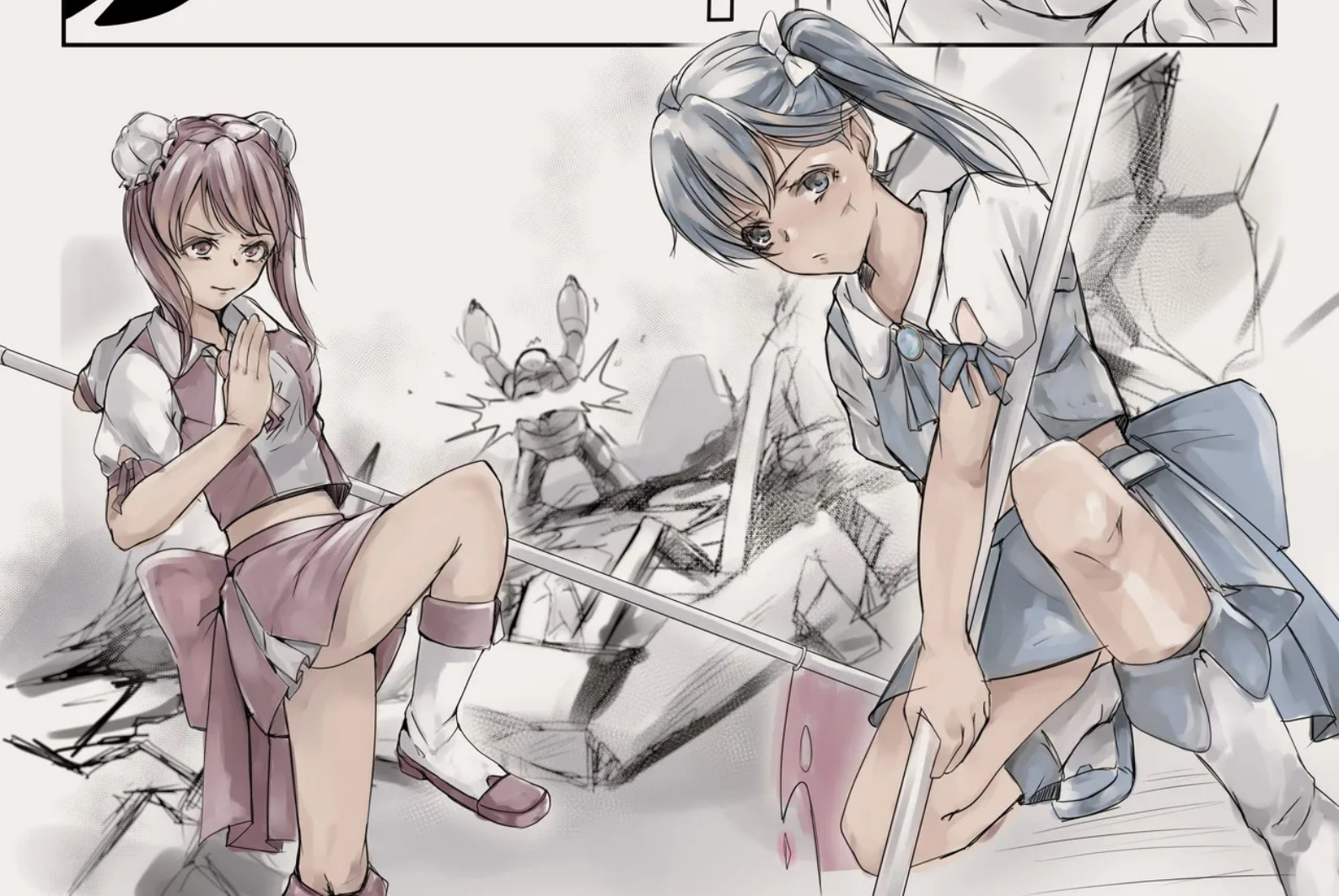
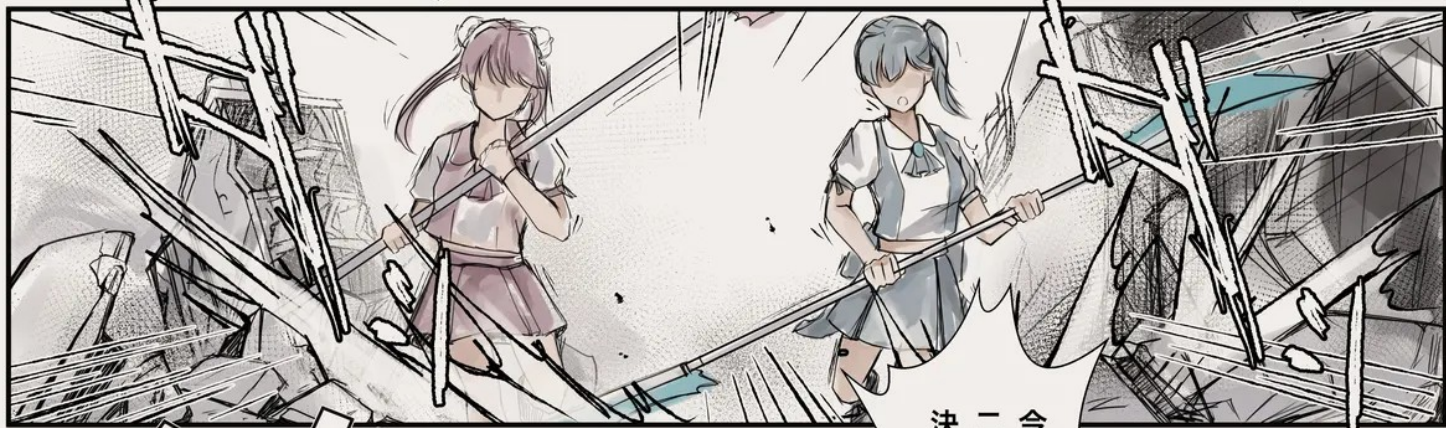
『魔法少女セイントウィッシュ
精霊の力で異邦の
巨人と戦う少女…』

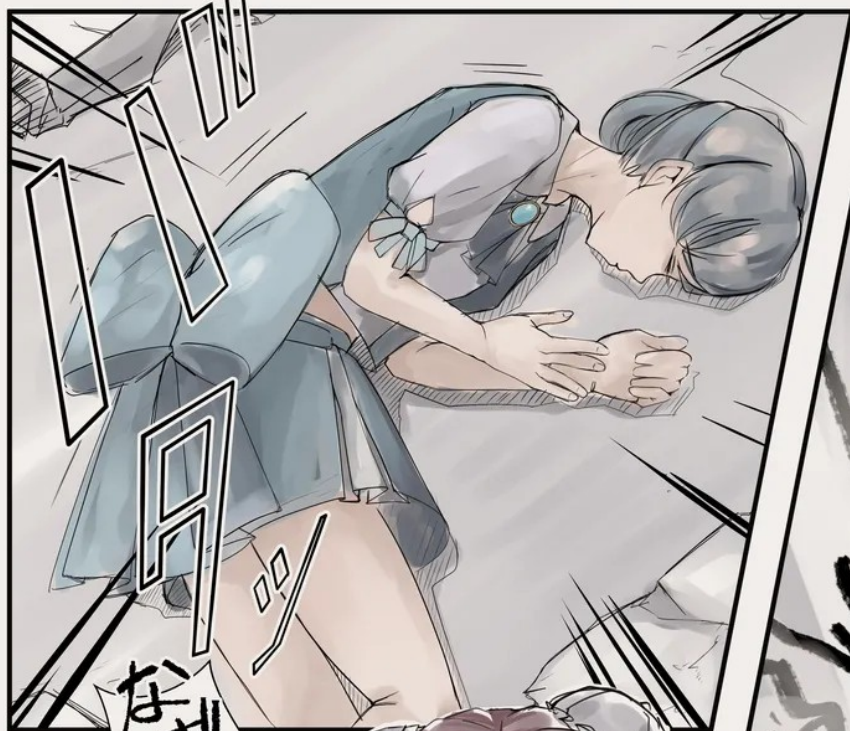


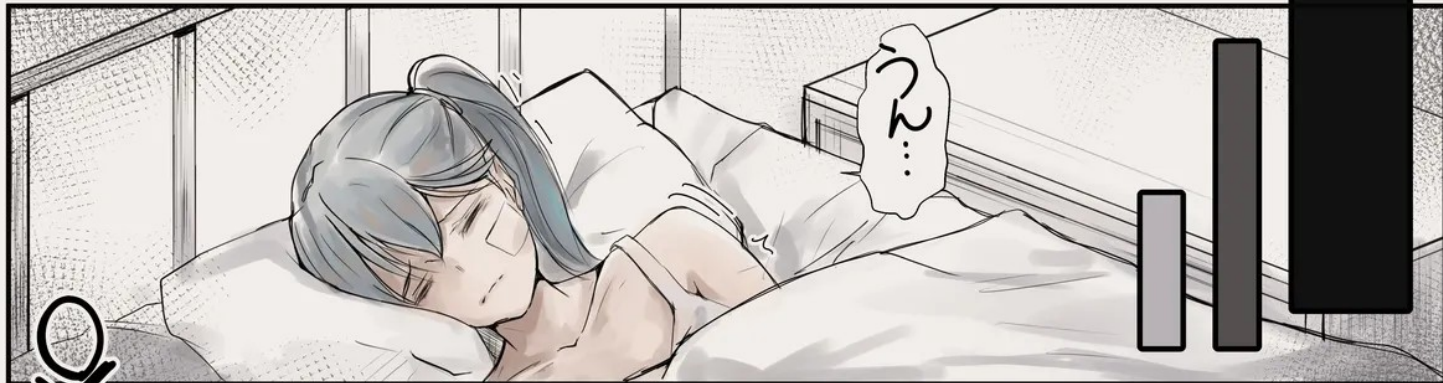
幾度とない死闘のはてに
今、最後の巨人が彼女たち
の前に立ちはだかる…。

これが最後の敵、
頑張って！









はっ
ん





そっか・・・、
私達、勝ったんだ。
もう、戦う必要はないのね。



美味しいもの
食べに行こう！

うん、早く身体を
なおして、



そう・・・。

もう、
巨人はもういない
君達の使命は
おしまいだよ。
だから、今は
ゆっくり休んで！



じゃ、帰るよ・・・。
またくるから。
ポポロはどうする？

僕は
もう少し残るよ。

そっか、じゃあ、
後はたのむね。
ポポロ。



ふふふ、ありがとう。
早く、元気にならなきゃね。
だから、今日はもう少し眠るよ。

それが良いね。

これで本来の計画が
始められる

くっ！ホホロ、
あなた
裏切ったのね……！
なんで……！

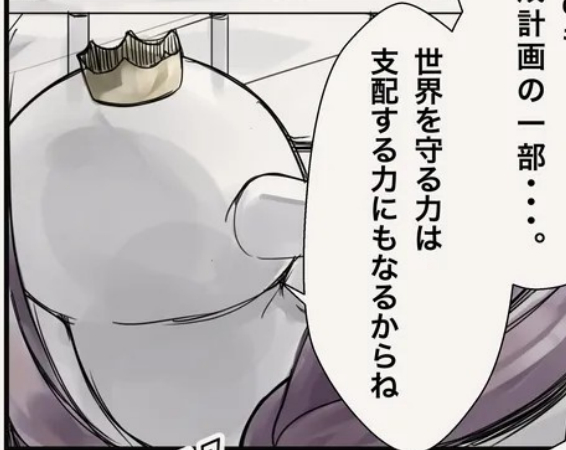
裏切った？
違うね、元々計画
に折り込み済み。

計画？
なんなのそれ。

そう計画、あの巨人も、
戦う力を与えたのも
全部、君達の育成計画の一部……。

世界を守る力は
支配する力にもなるからね

あなたが
あなたのせいで
戦いが！



メタモルフォーゼ

セイント・プラティ
参上！

私は負けない！





はあ、
僕に勝てるわけ
ないでしょ。

僕には、攻撃通らない
変身システムはそう
設計しているから……。

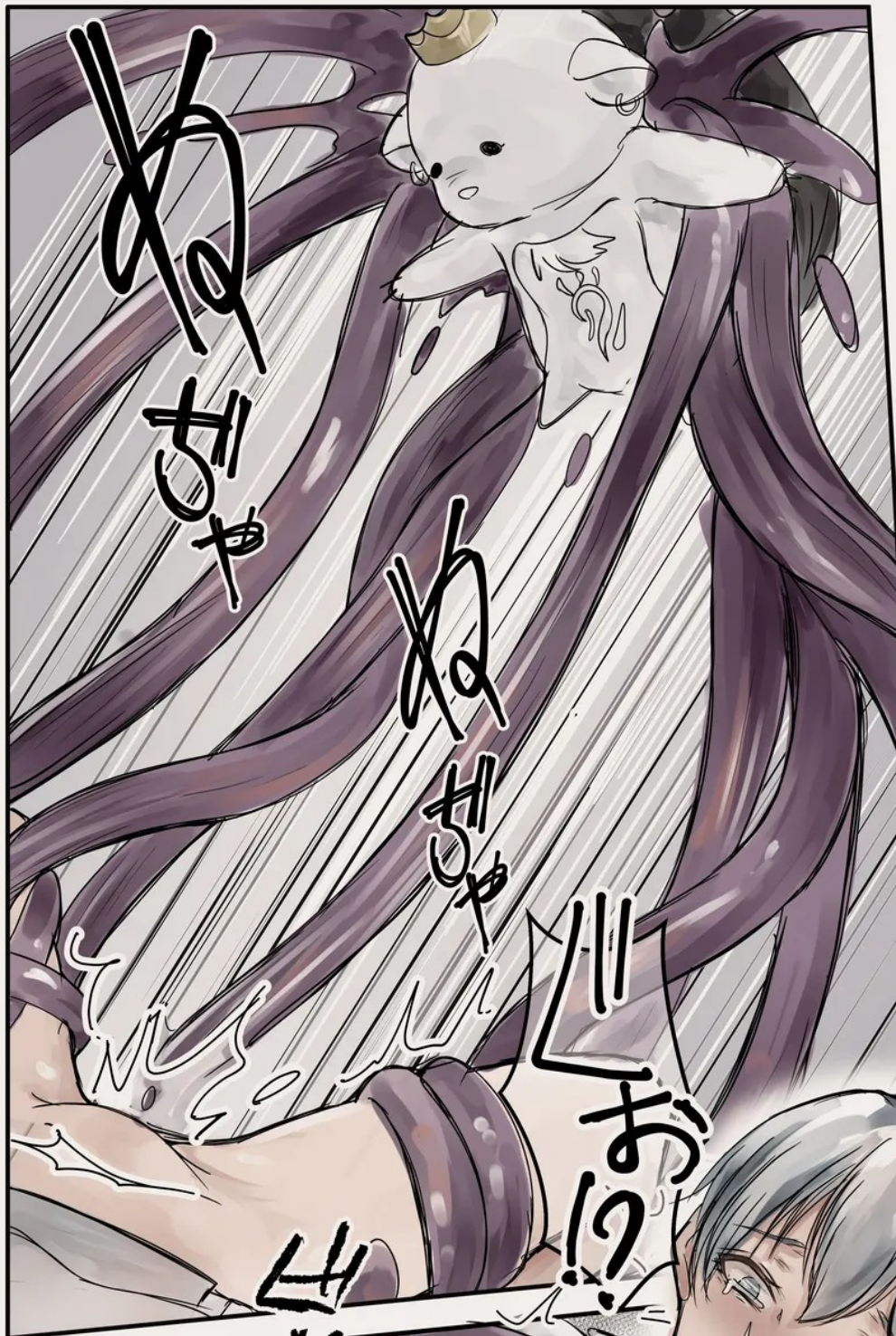


卑怯もの……、
放しなさい！

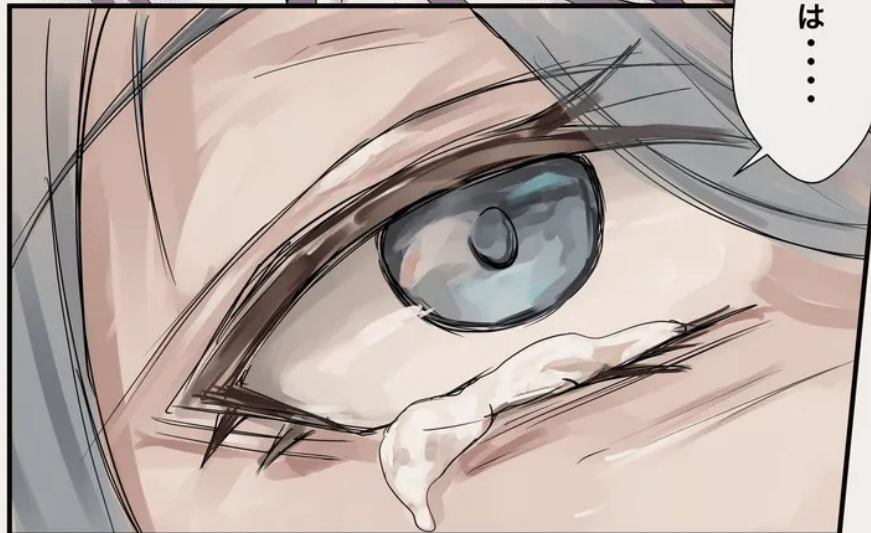
はは、
放すわけないよ

ここらなんだ
から……。









あの時、
助けられて

君、はあはあ、
巨人は全部倒し
たから安心して。

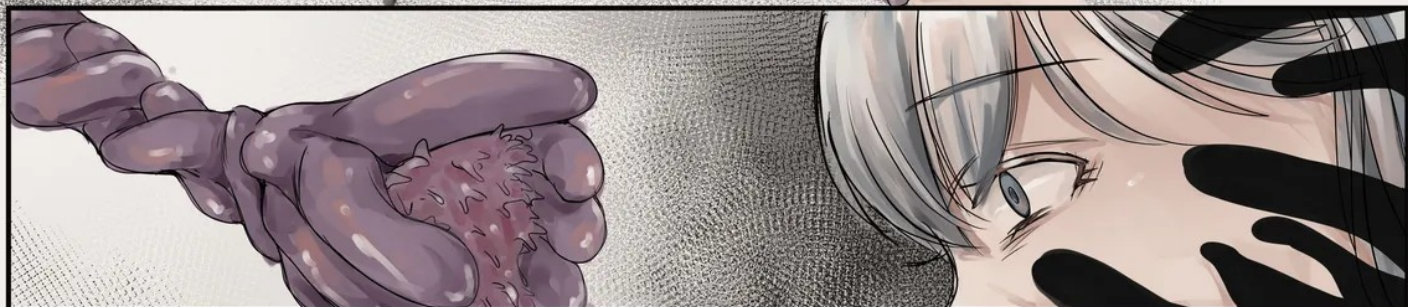
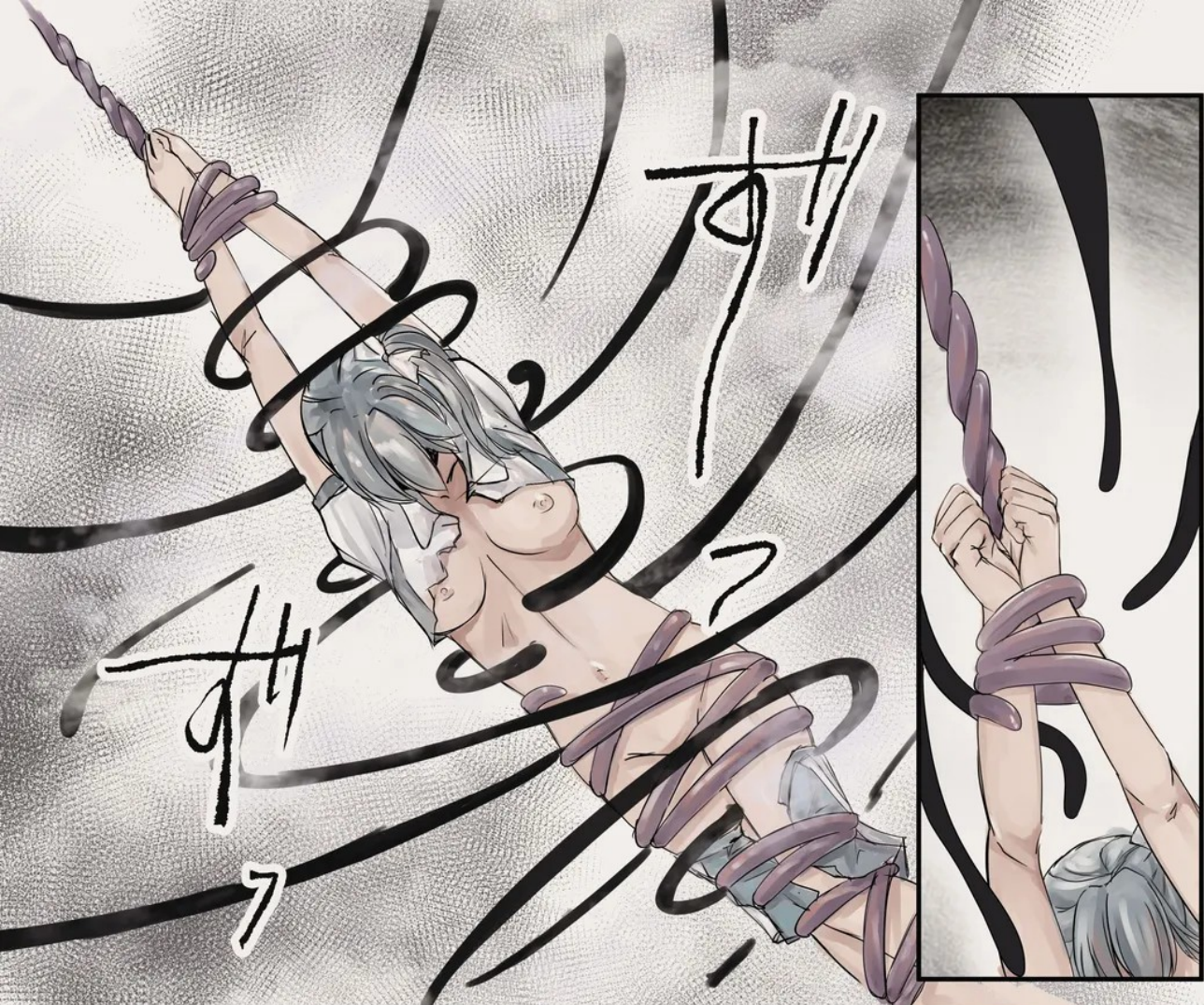
あ、
ありがとう…。
あれ、立てない

差し伸ばされた手を
見て思ったんだ

みんなのため、
傷つきながら
1人で戦う彼女を力に
なりたいって

私はリウのために
セイント・ウィッシュに
なったんだ…。

リウのため…





細かいことは気にしない。
ほら、力を抜く！

う、ダメ、
私達はそんなじゃ
ないでしょ

えー。
私はなずな好きだから
したいけど

あゝ

私のするの嫌？

ん♡だめ
そんなの……

そんなこと言われたら……
拒否できないよ……



うそ。
ほんとほしたいくせに

うう。。

あ♡

はぁ♡

はぁ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡



ああ、ダメもう
止まらない……。
気持ちいい、
気持ちいい

んっ♡

ちゅっ♡
ちゅっ♡

熱い……。
身体中、熱くて
溶けてしまいそう

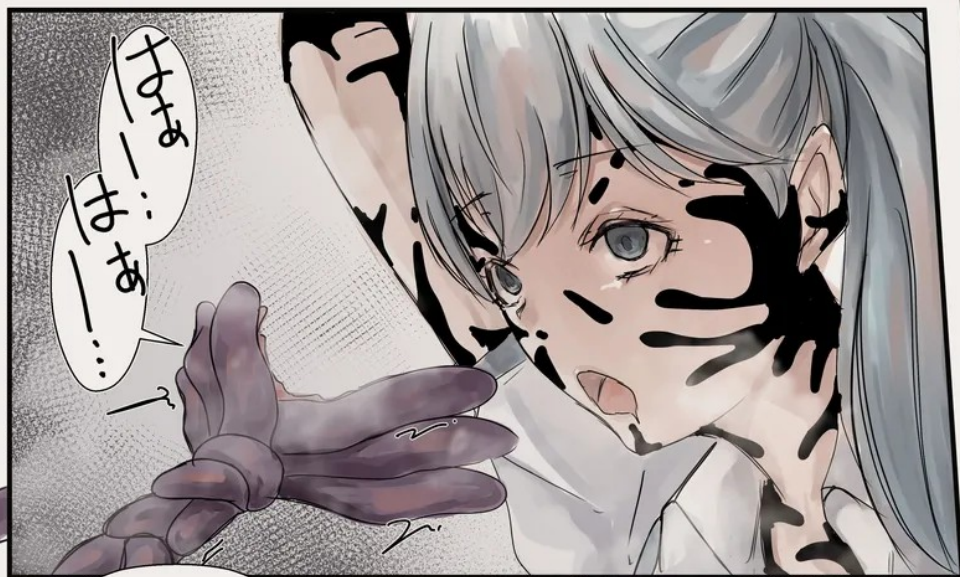
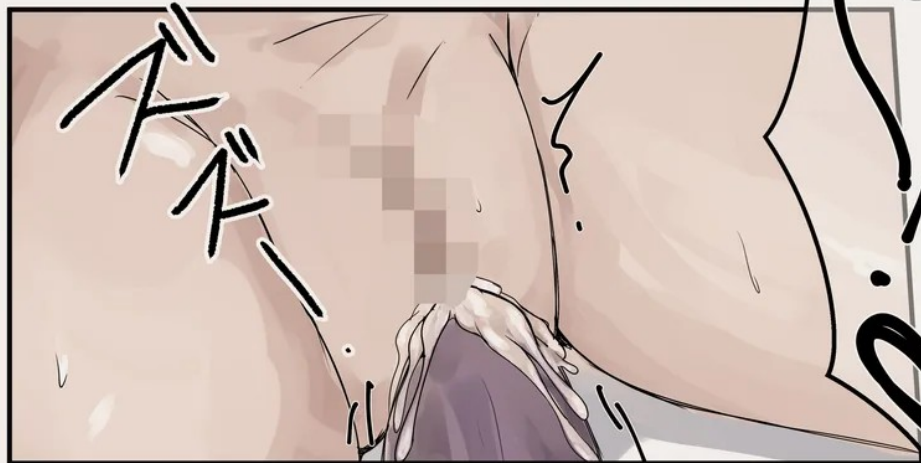
好き子のするのって
こんなにも
すごいものなの……。
これさえあれば……。私

イク♡

ヒッ♡

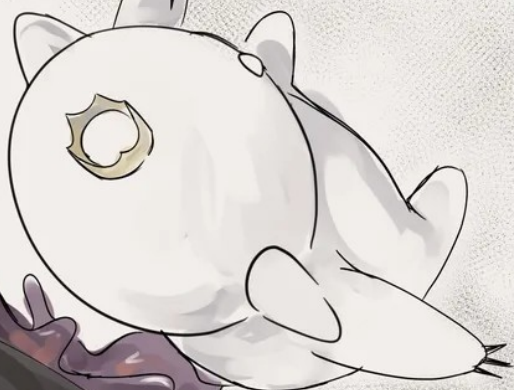
ちゅっ♡

あっ♡



はぁはぁー
り...リウは？

本物のリウはここには
いないよ。
見ていたなずなの願望を
反映したのは幻！



わ、私の願望？

そう、願望。

君が戦って来た理由。
でも、今のままじゃ

手にできない。
リウは君を恋心は
抱いてないからね

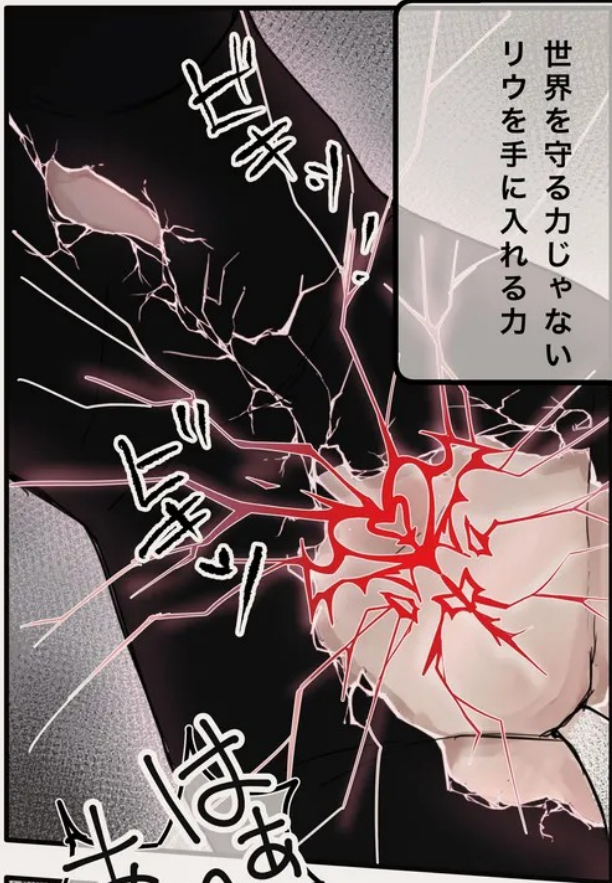
だから、僕ともういちど
契約をしない？

条件は僕の世界征服に
付き合ってくれたら、
リウを堕として、なずなの
恋人にできる力をあげる。

恋人……。
リウが私のに……。

いつも、
変身に使っている言葉、
その一言で再契約はなって
新しい力を得られるよ……

ほら、素直に
なりなよ……



世界を守る力じゃない
リウを手に入れる力



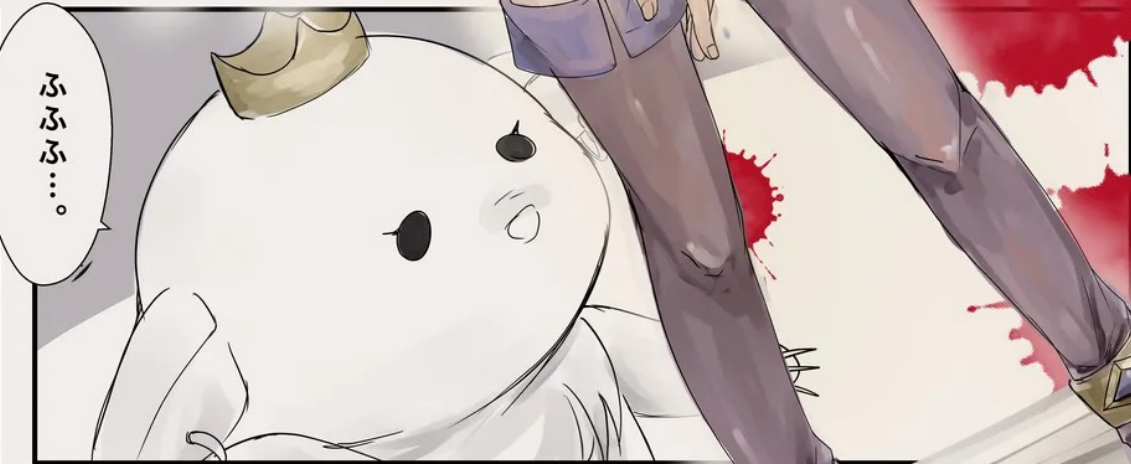
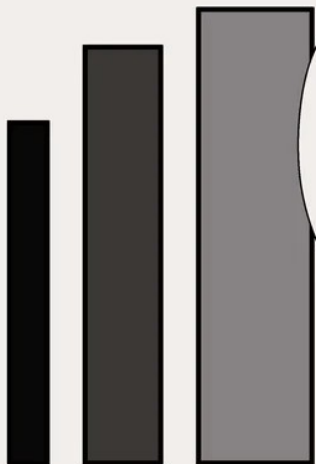
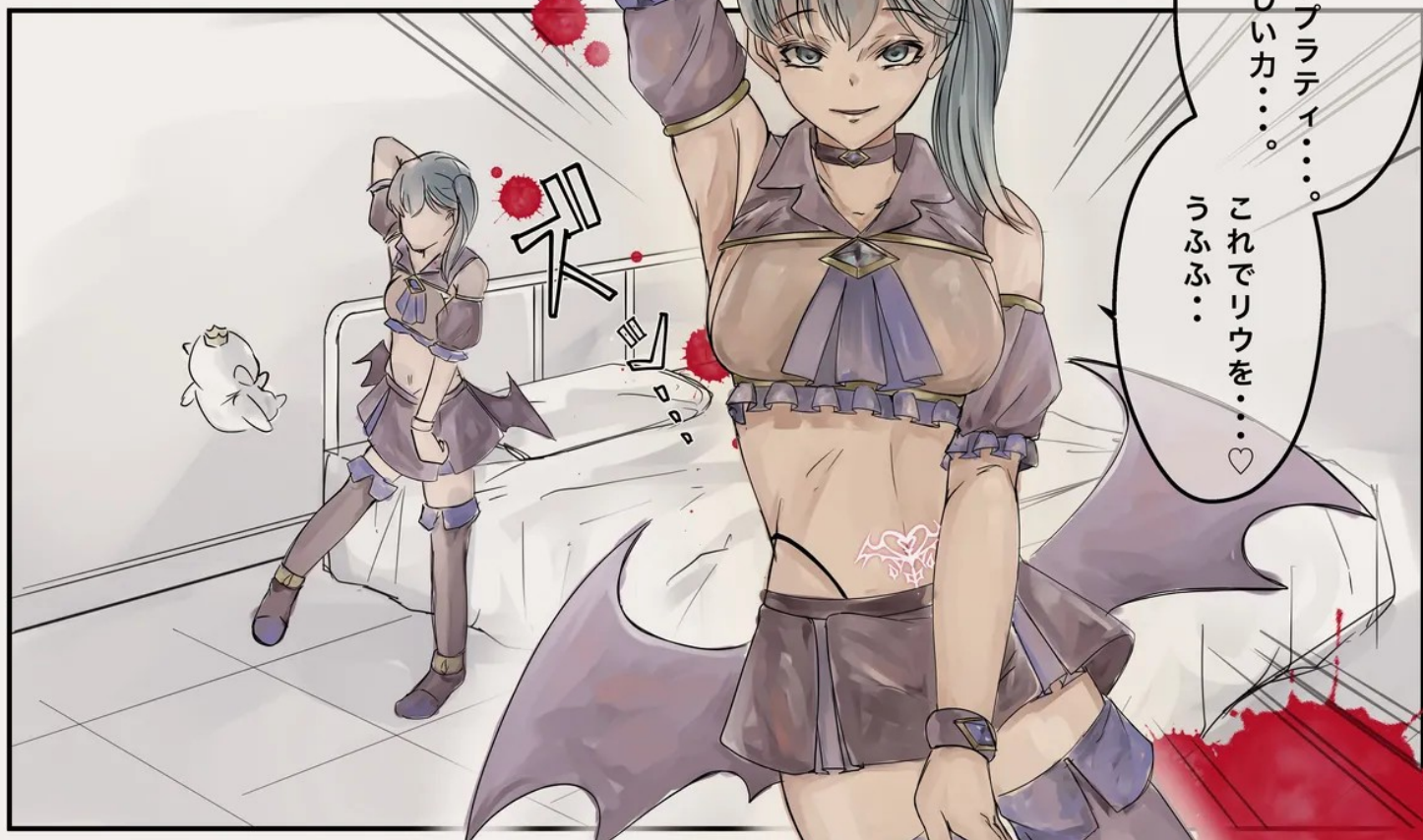
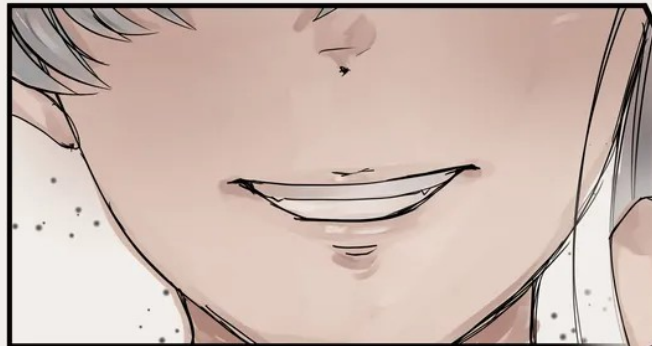
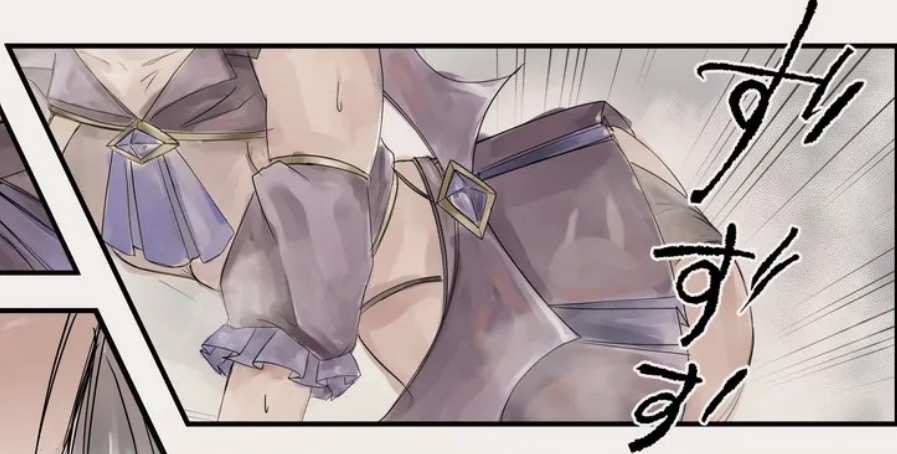
あ、そうか
最初から私が
欲しかったのって…。



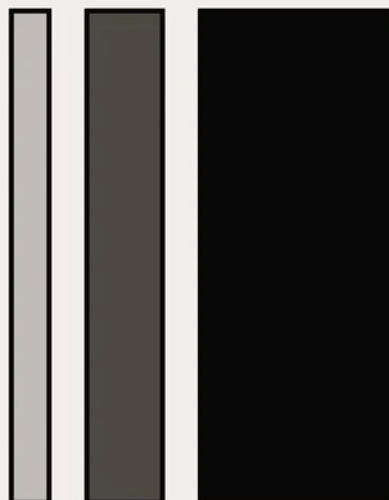
べつに
世界がどうなろうとか
まわらない…。
私は私の願望のために



メタモルフォーゼ……。



なずなとポポロが
病院から消えてから数日…
今だに居場所は分からない
手掛かりすらつかめてない…

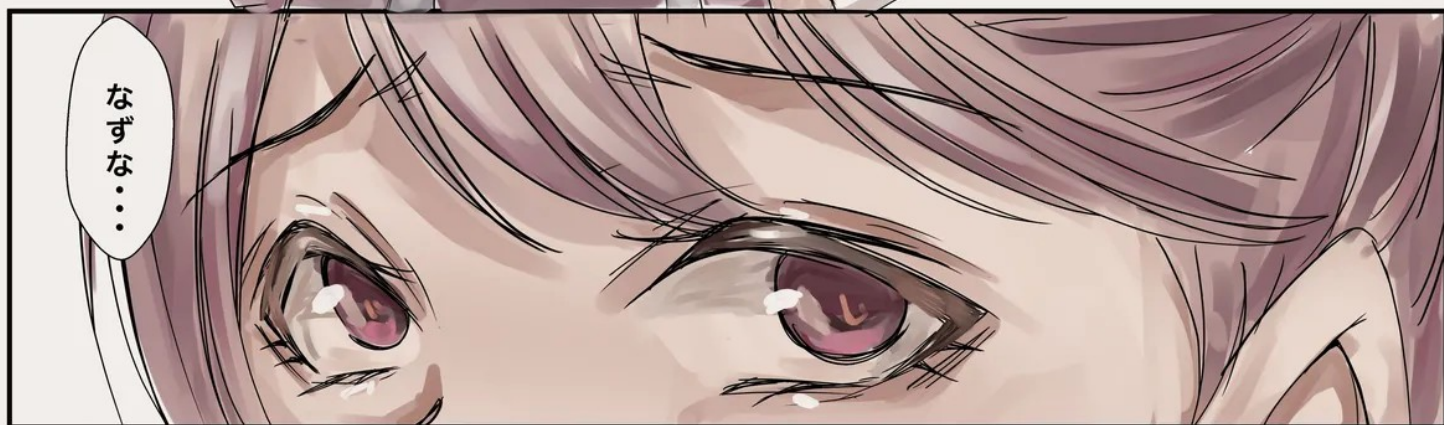


...

どこへに
行ったの…?



なずな…









ポポロ

うーん、今後を考えるとちょっと、戦力が足りないなあ…。
新しい巨人は容易するのも大変だしどうしようか…。
あ、そうだ！なずな！





ノアール・プラティ

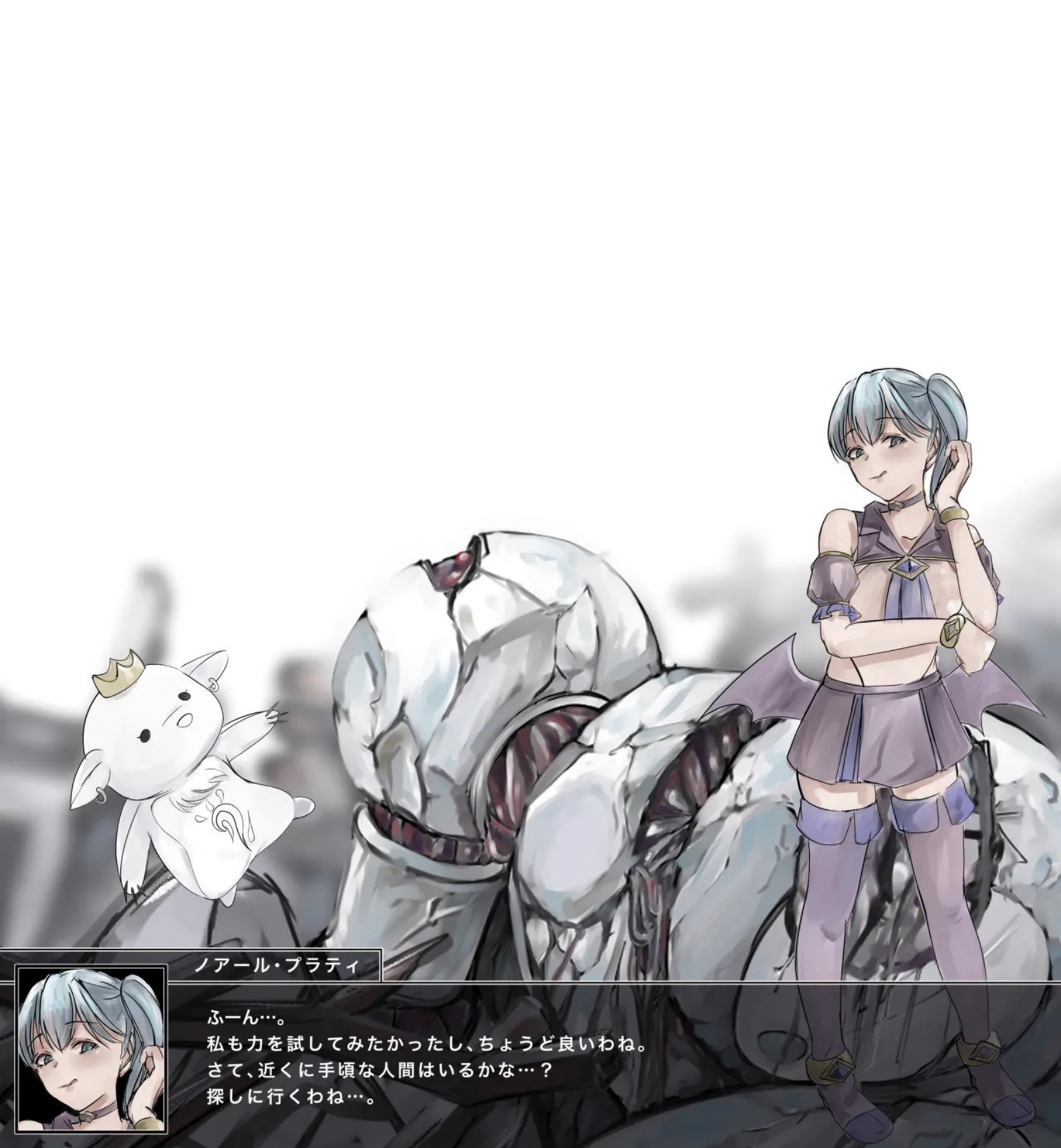
どうしたのポポロ…？
戦力不足どうとかで悩んでいるようだけど…。



ポポロ

そう、そのことで、ちょっと頼まれてくれるかい？
新しい力でリウを墮とす前に、試しにそこら辺の人間を墮としてほしいんだ。
予行演習だよ！

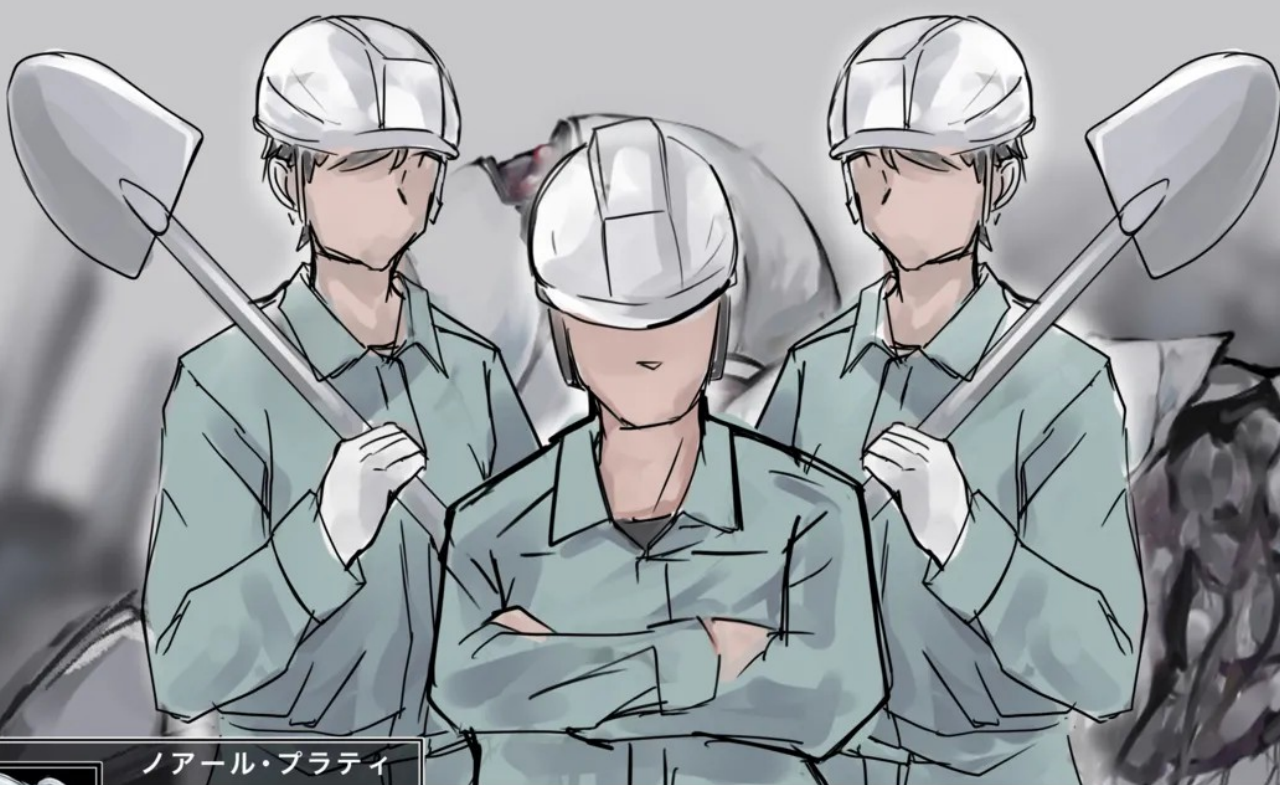




ノアール・プラティ

ふーん…。
私も力を試してみたかったし、ちょうど良いわね。
さて、近くに手頃な人間はいるかな…？
探しに行くわね…。





ノアール・プラティ

(あ、いた、いた。しかも三人も…。)

ねえ、お兄さん達は復興を行なっている作業員の方達ですか？

あっちの作業を行なっているんですが、少し力を貸してくれませんかぁ♡





作業員

(何だろう…？ちょっと怪しいけど…、行かないわけにもいかないし)
あ、何かお困りですか…？

ず
ち
…

ず
ち
…

ず
ち
…

ず
ち
…

ず
ち
…

作業員A

(う…、俺、何をしてたっけ…？

確か、女に声をかけられて…ついて行ってそしたら急にめまいがして…。)

(あっ？何か下半身にのってる？それにこの音…。まさか！？)



ノアール・プラティ

ふふふ♡

やっと、目を覚ましたのね。何をしているかわかる？ 今からね。君達を射精させる
そして、無防備になった精神に新しい価値観や忠誠心を入れ込んで悪へと堕とすわ。
嫌なら絶対、射精しちゃダメだからね。





作業員 A

あがぁ、悪になんか。
やめろ！お、俺には家族だっているんだあ！
はっ、ああああ！俺は堕ちたくないいい！絶対、堕ちない！



ノアール・プラティ

あはは♡その調子、頑張って耐えてね！
じゃ、ペースあげるよ…。
ほら、ほら♡気持ちいいでしょ。でも家族のために負けられないよね…。
がんばれ！がんばれ！



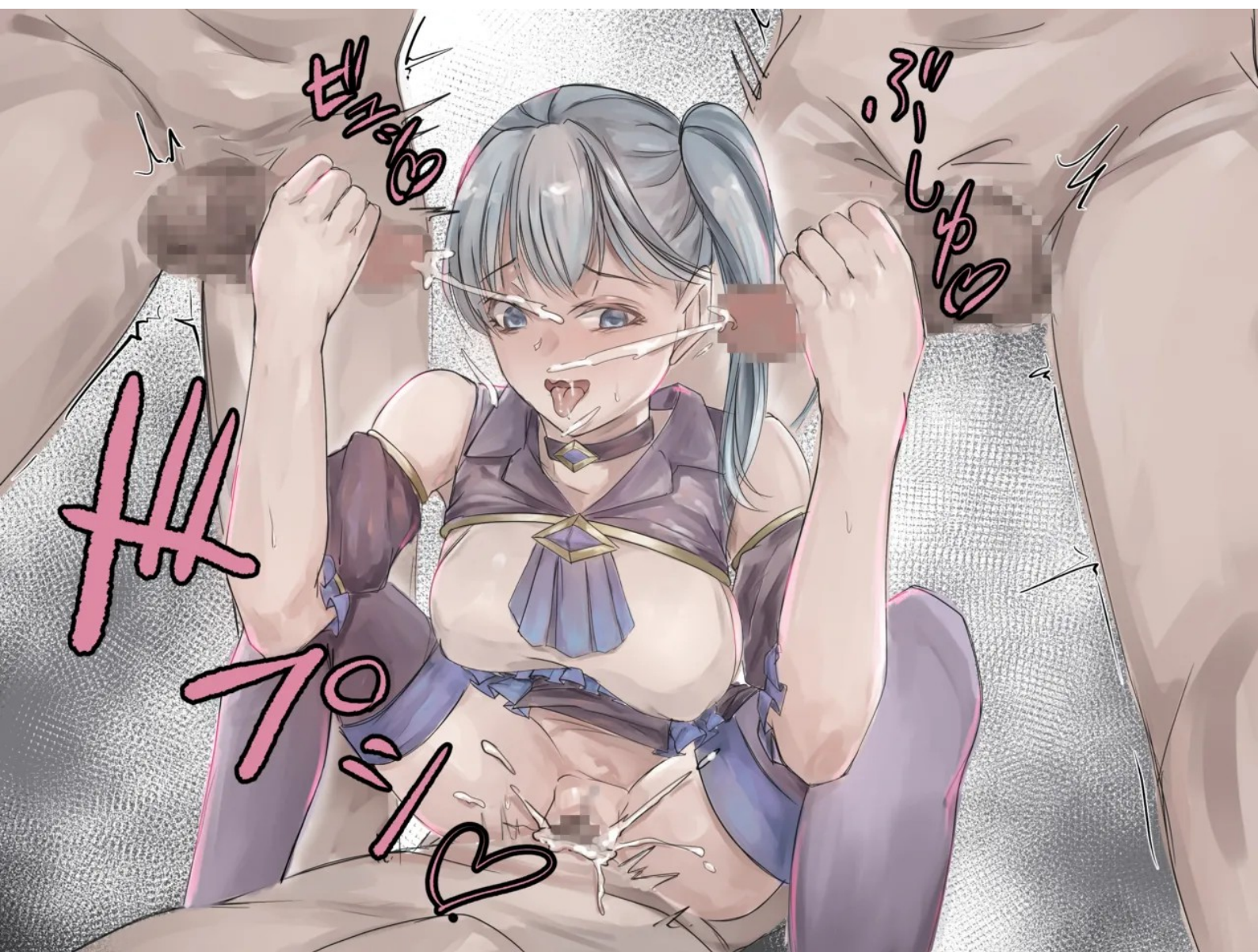
作業員A

おっっつ!! ああっ!
嫌だ。やめろおおお!
っうああああああああああああああああああああ!!



ノアール・プラティ

ああ！あはは。
中でおっきくなったね。精子あがってきちゃったね♡
もうダメ？むり？むり？あはは
射精せ！射精せ！♡♡





作業員A

はぁはぁ、ああ。き、気持ちいい…。
頭がぼーっとしてきて…

